

毎年、5才児クラスは、電車で外部のさつま芋畑に芋ほり遠足に行っていましたが、今年度は開催することが難しいと考え、園内にさつま芋畑を作り、芋ほりを行うことにしました。

6月 畑作り・苗植え

玄関横の植物が植えてあった場所に、畑を作りました。子ども達にも草とりや石拾いを手伝ってもらい、綺麗になった畑にさつま芋の苗を植えました。登降園時に見える場所にあるため、葉が育つ様子なども毎日観察することができました。



10月 芋ほり

生い茂った葉やつるを取り除き、幼児クラスを中心に芋ほりをしました。葉を観察したり、友達と大きさを比べたり、自分の身長より長いつるを一生懸命引っ張っていました。子ども達はワクワクしながら土をほり、出てきたさつま芋に大喜びしていました。さつま芋は玄関に寝かせていたので、迎えに来た保護者に「これ私が採ったんだよ♪」と嬉しそうに教えていたり、「いつ食べるの?」「早く食べたいー!」と楽しみにしている様子が見られました。



12月 焼き芋大会

おやつで焼き芋を食べるため、午前中から準備に取り掛かりました。さつま芋を綺麗に洗い、濡らした新聞紙でしっかり巻いて、その上からぴったりとアルミホイルで包みました。

「上手に巻けたよ!」と見せてくれたり、焼く前から「美味しそう!」と楽しみにしていました。



待ちに待ったおやつ時間。園庭や教室に分かれて焼き芋を食べました。「おいしい!」「甘い!」という声がたくさん聞こえてきました。いっぱいあったおかわりもあつという間になくなり、子ども達はみんな大満足でした。



例年だと、さつま芋畑に行けるのは5才児クラスですが、今年はすべてのクラスや保護者も畑を見ることができ、葉やつるが育つ様子を観察することができました。育てるところから関わりを持つことにより、収穫の喜びや恵みに感謝し、園全体で焼き芋大会までを楽しむことができました。